

使用手引書

【使用実績】

2016年春～において、中3高等養護志望生徒に実施、実施までは小2～3程度の算数・語彙を行う。スピードが速く時間を持て余す様子があり、5分程度行くと注意がそれていた。

当教案使用のちは15分以上じっくりと考える様子が見られた。図形の弁別や数列の問題は正答率が8割程度あり、臥薪嘗胆といった四字熟語の意味を4つの選択肢から選ぶことなども、自力でできるとわかってきた。

【教材タイトル】

『事務能力検査』（一ツ橋書店）〈税抜 972 円〉（書籍の対象は定型の高校生であるが、内容と形式から、本教案において有効性があるため使用。）

【対象】言語能力よりも処理速度が速く、集中が続きにくい中3～特別支援学校高等部生

【方法】同じ図形を探す・逆算の計算・四字熟語の意味を選択してから選ぶ・などの問題を、始めは5問程度まで指導者が鉛筆で区切りを入れ、「ここまで一人でやってください」と指示する。できれば〇をし、「早いね、よく正解している。じゃあ、ここまでできる？」などと言い、次は10問程度を区切る。図形か数学系から始め、15分程度行ったら、言葉の問題に移る。書くものよりも、選択肢がやりやすい。

【目的】教科書を使うと、各教科の単元という枠がある。学年・教科ごとに分かれた単元は、特別支援在籍の生徒は、元々履修していないものが多い。最終的に、就労で役立つ事務能力での、数学・国語・弁別能力に絞り、テキストベースで取り組みを行う。



82 基礎編
検査18 照合(1) (照合能力検査) 83

検査18 照合(1)

次の手引と照合して同じものがあれば〇、そうでないものには×印を例にならって記入しなさい。

(手引)

W	X	Y	S	Z
イ	ニ	ロ	ト	ハ

例

W	X	Z	W	S	Y	X	Z
ト	イ	ハ	イ	ロ	ロ	ニ	ト
×	×	○	○	×	○	○	×

(1)

Y	X	W	S	Z	K	S	T
ロ	エ	イ	ハ	ト	ニ	ト	コ

(2)

S	X	Q	X	Y	Z	W	Y
イ	ニ	ハ	エ	ロ	ヘ	イ	ヨ

Guide 上問は判別力をみる検査ですが、より速く、より正確にチェックすることが望まれます。このような単純な問題は、ややもすれば肩の力を抜きがちで、そのための失敗を多くみます。易しいものほど慎重という問題の1つでしょう。解法のポイントは面倒がらずに手引と1つずつ照合することと、類似のアルファベットおよびカタカナに惑わされないためにも落ちついて処理することです。
正解は(1)一〇×〇××××× (2)一〇×〇×〇×〇×

解答

(1)母 (2)下 (3)おじ (4)ない (5)罰せられる (6)学校 (7)大胆 (8)友人 (9)行く (10)遅い (11)美人 (12)走った (13)働く (14)前 (15)病気 (16)正直 (17)正常 (18)得 (19)起き (20)出る (21)低 (22)6 (23)悲しむ (24)ふえた (25)3時12分 (26)A社 (27)5時5分 (28)もらわない (29)受け取る(もらう) (30)かけていない (31)病気(病人) (32)嫌われる (33)空腹 (34)吠いていない (35)失礼(無礼、非常識) (36)反対 (37)落ちる (38)好む